

広報見聞録

春を満喫「玉川公園水仙まつり」

Koho - kenbunroku



5月11日(日)、北檜山区丹羽の玉川公園において第36回玉川公園水仙まつり(実行委員会主催)が開催されました。水仙と桜は見ごろを過ぎていましたが、バツグンの天候に恵まれ道南はじめ道内各地から観光バスも到着。約八千人の観客で賑わいました。

ステージでは、二俣風神太鼓、浮島竜神太鼓、玉川音頭の皆さんによる郷土芸能の後、はかまだ雪絵さん、佐藤俊彦さんによる歌謡ショー、陸上自衛隊第11音楽隊と檜山北高等学校吹奏楽局によるジョイントコンサートが行われ、春の一日を楽しみました。



編集後記

▼今回の広報では、2ページから5ページにわたり町の子育て支援に対する取り組みについて妊娠・出産から育児、学童保育までのステージごとにご紹介してみました。4月なせたな町も共働きや核家族化などを考慮した各種サービス体制がスタートしましたが、取材を通してもっともっと町に望むものがあること、子どもに対する真剣な課題を教えてもらった気がします。今後とも未来のせたな力である子どもたちのためにより良い環境づくりを目指して参りたいと思います。特集を組むにあたり、快くインタビューに応じて頂いた皆さんと関係機関の皆さんには、お忙しい中ご協力をいただきまして本当にありがとうございました。▼今年の玉川公園水仙まつりは、うっかりすると真っ赤に日に焼けてしまうほど良い天気で、ジンギスカンを囲む職場や地域の仲間が春らんまを満喫していました。水仙と桜は例年より開花が早く、ゴールデンウィーク頃が丁度見ごろだったので、当日はすっかりピークを過ぎていましたが、ステージ前では観客の皆さんの手拍子や拍手の花が咲いていました。(乾・藤谷・稲船)

